

UM販売購買

リリースノート

2211E

発行日	2022/12/12
最終改訂日	2022/12/26

株式会社シナプスイノベーション

© Synapse Innovation Inc.

Confidential

目次

目次	1
改訂履歴	2
1. 概要	3
2. 詳細	4
2.1. 受注API機能追加	4
2.2. 入荷実績API機能追加	4
2.3. 勘定奉行API連携機能追加	4
2.4. 残高金額の消費税表示方法変更	4
2.5. 明細の列幅調整機能追加	5
2.6. 決済方法マスタ 処理区分必須チェック追加	6
2.7. 担当者マスタ ユーザ必須チェック追加	7
2.8. 通貨マスタによる金額表示小数桁の制御	8
2.9. ロットの全角・半角チェック機能	9
2.10. 取引先詳細画面のレイアウト変更・必須チェック追加	9
2.11. 仕訳明細への貸方／借方科目名追加	10
2.12. 銀行手数料マスタ追加	10
2.13. 入出荷実績伝票作成時の担当者情報取得処理追加	10
2.14. 購買オーダー～発注作成時のレート取得元変更	11
2.15. 発注残クローズフラグの機能改善	11
2.16. 請求締・支払締の検索条件追加	12
2.17. 販売・購買伝票の拠点制御	12
2.18. 不具合修正	13
3. アップグレード手順	16
4. UM販売購買用設定	19
4.1. UM共通用設定	19
4.2. プロセスビルダーの制御を無効化に変更する	19
4.3. フローを有効化する	21
4.4. 入力規則を無効化する	22
4.5. 奉行クラウド連携をご利用になる場合の任意設定	24

改訂履歴

改訂日	Ver.	改訂内容
2022/12/12	1.44.4	発行
2022/12/15	1.44.7	<ul style="list-style-type: none">● 不具合修正内容を追記● 発注残クローズフラグの機能改善 について追記● 請求締・支払締の検索条件追加 について追記● 販売・購買伝票の拠点制御 について追記
2022/12/20	1.44.9	<ul style="list-style-type: none">● 不具合修正内容を追記● UM販売購買用設定 フローを有効化する 誤字を修正● UM販売購買用設定 入力規則を無効化する 誤字を修正
2022/12/23	1.44.9	<ul style="list-style-type: none">● 明細の列幅調整機能追加 データ設定方法の参照方法を追記 イメージ図を修正
2022/12/26	1.44.9	<ul style="list-style-type: none">● 不具合修正内容を1件追記● UM販売購買用設定 フローを有効化する 説明内容を修正

- 本書の一部または全部を無断で複製・転載することはお断りします。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品をご利用いただいた結果の影響につきましては上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

1. 概要

本リリースにおいて、下記の変更を実施いたしました。

V1.40.0

- 受注API機能追加
- 入荷実績API機能追加
- 勘定奉行API連携機能追加
- 残高金額の消費税表示方法変更
- 明細の列幅調整機能追加
- 決済方法マスタ 処理区分必須チェック追加
- 担当者マスタ ユーザ必須チェック追加
- 通貨マスタによる金額表示小数桁の制御

V1.44.4

- ロットの全角・半角チェック機能
 - 請求締、支払締の並び順に得意先、仕入先を追加
 - 取引先詳細画面のレイアウト変更・必須チェック追加
 - 仕訳明細への貸方／借方科目名追加
 - 銀行手数料マスタ追加
 - 入出荷実績伝票作成時の担当者情報取得処理追加
 - 購買オーダー～発注作成時のレート取得元変更
 - 発注残クローズフラグの機能改善
 - 請求締・支払締の検索条件追加
-
- 不具合修正

各変更内容につきましては、次ページ [詳細] よりご確認ください。

アップグレード後の

各変更による設定の追加等につきましては、[UM販売購買用設定] よりご確認ください。

2. 詳細

2.1. 受注API機能追加

受注伝票の登録用API機能が追加されました。これにより、外部システムからのAPIでの登録・更新処理が可能となりました。

※本バージョンでは基軸通貨のみの対応となります。

2.2. 入荷実績API機能追加

入荷実績伝票の登録用API機能が追加されました。これにより、外部システムからのAPIでの登録処理が可能となりました。

※本バージョンでは登録のみとなります。

※本バージョンでは単票単位での処理となります。

2.3. 勘定奉行API連携機能追加

今までの勘定奉行の仕訳伝票取込フォーマットでのCSV出力に加え、勘定奉行クラウドのAPI取込機能を用いたAPI連携での仕訳伝票出力が可能となりました。

※ご利用になる場合はUM for 奉行クラウドのパッケージインストールに加え、「奉行クラウド連携をご利用になる場合の任意設定」の設定が必要となります。

2.4. 残高金額の消費税表示方法変更

得意先元帳・仕入先元帳に「発生金額」と「税額」を含めた「合計金額」項目が追加となりました。

※全て同じ取引先、計上月、通貨の伝票が入力された際の残高増加イメージ

伝票				元帳			残高					
	合計金額	合計税額	総合計	発生金額	税額	合計金額	前残金額	発生金額	発生税額	残高金額		
内税	1000	90	1000	⇒	910	90	1000	⇒	0	1000	90	1000
外税	1000	100	1100	⇒	1000	100	1100	⇒	0	2100 (1000+1100)	100	2100
計算しない	1000	0	1000	⇒	1000	0	1000	⇒	0	3100 (2100+1000)	0	3100

↑ 本体金額 ↑ 税額を含んだ金額 ↑ 税額を含んだ金額

2.5. 明細の列幅調整機能追加

ヘッダ・明細構成の伝票にて、明細項目の幅をオブジェクト、項目ごとに大・中・小から選択できる機能が追加されました。カスタムメタデータ型項目「Detail Editor Column Settings」にて、任意で設定が可能です。

※指定しない場合、一律「中」の幅となります。

※設定方法の詳細については「UM共通:システム管理者ユーザーガイド」の「カスタムメタデータ型の設定【必須/任意】」の設定手順をご参照ください。

例) 受注明細の数量を「小」に指定

設定

ホーム オブジェクトマネージャ

カスタムメタデータ

カスタムコード

カスタムメタデータ型

探しているものが見つかりませんか?
グローバル検索をお試しください。

設定
カスタムメタデータ型

明細列幅調整

明細列幅調整の詳細

編集 削除 コピー

表示ラベル	受注の数量
明細列幅調整名	so_qt
カスタムオブジェクト	受注明細
カスタム項目	Quantity
列幅	小



受注明細の数量の幅が狭くなります。

UM販売購買

受注見積 受注 受注生産依頼 受注生産解除 出荷指回 出荷実績 売上 請求 請求締 請求締解除 購買オーダー 購買見積 発注 入荷実績 仕入 入金

受注
KT1026-2

+ フォローする 購買オーダー作成 発注作成

受注日 納期 得意先 合計金額(取引通貨) 受注残クロスフラグ 営業担当者
2022/10/26 2022/10/30 NY取引先 10,000.00 システム管理者

受注

関連 詳細

基本情報

受注№	拠点
S-000000003	製造第一拠点
受注名	出荷元拠点
KT1026-2	
受注区分	受注見積

明細入力 活動 Chatter

品目	品目名	客先品目	数量	単位	単価(取引通貨)	金額(取引通貨)
<input type="checkbox"/> NY001:製品	製品		10	個	1,000	10,000

2.6. 決済方法マスタ 処理区分必須チェック追加

債権債務機能にて使用している決済方法マスタの処理区分の必須チェックを入力規則に追加しました。

※債権債務機能をご利用の場合、下記方法にて入力規則を有効にしてください。

1) オブジェクトマネージャにて決済方法を選択＞入力規則＞ルール名「CheckRequiredProcessType」＞編集 を選択します。



2) 「有効」チェックをオンにし、保存ボタンを押下します。



2.7. 担当者マスタ ユーザ必須チェック追加

担当者マスタのユーザに対して必須チェック用の入力規則を追加しました。
データローダや、インポートウィザードでインポートを行う際や、画面からデータ登録を行う際に、ユーザの必須チェックを入力規則で切り替えることが可能です。

必須チェックを行う場合は、以下の手順を実施してください。

- 1) オブジェクトマネージャ>担当者マスタ>入力規則>CheckRequiredUser>編集 を選択します。

The screenshot shows the 'Object Manager' interface. The breadcrumb path is '設定 > オブジェクトマネージャ > 担当者マスタ'. The left sidebar has '入力規則' (Input Rules) selected. The main area displays a table of input rules with one rule, 'CheckRequiredUser', which is highlighted with a red box. The 'Edit' button for this rule is also highlighted with a red box.

ルール名	エラー表示場所	エラーメッセージ	有効	更新者
CheckRequiredUser	ページの最上位へ	User is a required item.		User User、2022/10/27 10:09

- 2) 入力規則の編集 > 有効 のチェックボックスをオンにし、保存ボタンを押下します。

The screenshot shows the 'Edit Input Rule' page for 'CheckRequiredUser'. The '有効' (Valid) checkbox is checked, and the '保存' (Save) button is highlighted with a red box. The '説明' (Description) field contains 'ユーザの必須チェックを行う'.

担当者マスタ入力規則 (管理)

エラー条件と、対応するエラーメッセージを指定して、入力規則を定義します。エラー条件は、True または False を返す Boolean 数式で記述されます。数式が True を返すと、保存が中止され、エラーメッセージが表示されます。ユーザは、エラーを修正してもう一度やり直すことができます。

この入力規則は 管理されています。つまり、編集できるのは特定の属性のみです。詳細情報の表示

入力規則の編集

保存 保存 & 新規 キャンセル

ルール名: CheckRequiredUser

名前空間/プレフィックス: snps.um

有効:

説明: ユーザの必須チェックを行う

エラー条件数式: ! = 必須情報

2.8. 通貨マスタによる金額表示小数桁の制御

伝票・明細の金額表示および丸め処理において、通貨ごとの以下の制御機能が追加されました。

- ・金額部(明細・フッタ・ヘッダの金額)の小数桁が通貨マスタの小数桁数に準拠して表示されます。
- ・金額計算時、ヘッダのレート丸め区分に従って通貨マスタの小数桁数に丸められます。
- ・小数桁を含んだ明細金額にて、明細フッタおよびヘッダの総合計を算出します。

例) USDの小数桁を「2」に指定

通貨マスタ USD	
通貨コード USD	通貨名称 アメリカドル
通貨略称 \$	基軸通貨 <input type="checkbox"/>
小数桁数 2	レート換算丸めモード 四捨五入

↓
計算後の金額が小数2桁にて表示されます。

基本情報		明細入力								
受注No S-000000018	拠点 香川	<input type="checkbox"/>	品目	品目名	客先品目	数量	単位	単価(取引通貨)	金額(取引通貨)	出荷予定日
受注名 1102_永原_UMSCM-2141確認用①	出荷元拠点	<input type="checkbox"/>	マルチ通貨対応用品 目A	マルチ通貨対応用品 目A		100	個	120.123	12,012.3	
受注区分 通常受注	受注見積	<input type="checkbox"/>	マルチ通貨対応用品 目B	マルチ通貨対応用品 目B		1	個	120.123	120.12	
得意先 1102_取引先A (マルチ通貨) _UMSCM-2141確認用	プロジェクト									
受注日 2022/10/07	受注ステータス									
注文書発行日	得意先責任者									
出荷場所	納期 2022/10/14									
輸送会社	客先受注No									
時間帯	受注残クロスフラグ									
		合計金額(取引通貨)¥12,132.42		合計税額(取引通貨)¥0.00		総合計(取引通貨)¥12,132.42		債引額合計(取引通貨)¥0.00		総利合計(取引通貨)¥12,132.42

2.9. ロットの全角・半角チェック機能

在庫の受払時にロットNo.の半角チェックの実施有無を設定できるようになりました。
カスタムメタデータにあるシステム制御＞半角ロットフラグをオンにすることで、全角が入力された場合にエラーとしてチェックされます。

※上記カスタムメタデータの初期値はオフ(チェックしない)となっています。

必要に応じて設定を変更してください。

2.10. 取引先詳細画面のレイアウト変更・必須チェック追加

関連取引先設定が詳細タブ欄内のアコーディオンから下部の別コンポーネントへ移動いたしました。
本画面の下部コンポーネントの「新規」より作成した場合、該当の取引先に紐づくデータとして登録画面に取引先情報が引き継がれます。

取引先

*取引先名
テスト得意先 (検収基準)

牽行連携

親取引先
取引先を検索中...

> 会社設定
> 販売情報
> 購買情報

キャンセル 保存

関連取引先 (5) 新規

関連取引先№	関連取引先	取引先区分	優先順位
RA-0000000000	テスト依頼元	依頼元	1
RA-0000000001	テスト届け先	届け先	1
RA-0000000002	テスト請求先	請求先	1
RA-0000000003	テスト出荷元	出荷元	1

また、下記会社設定マスタ項目が伝票入力時に必須となるため、マスタ登録時の必須項目となるよう制御が加われました。

- ・通貨
- ・レート換算丸めモード

- ・課税区分
- ・単価×数量の丸めモード
- ・税額計算方法
- ・金額×税率の丸めモード

2.11. 仕訳明細への貸方／借方科目名追加

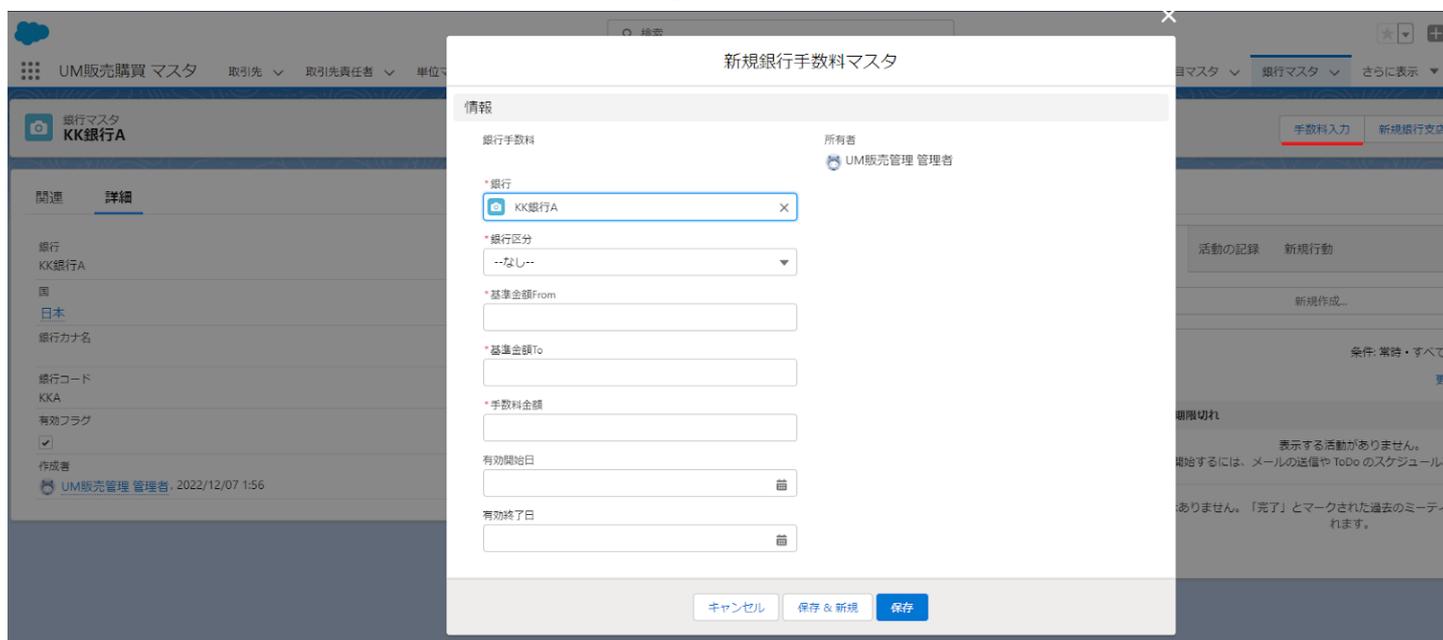
これまで勘定奉行クラウド連携を目的として外部科目コードのみ保持しておりましたが、仕訳明細に借方科目名・貸方科目名も格納するよう項目追加いたしました。



仕訳明細 ↑	仕訳	借方科目名	借方金額	借方消費...	借方消費...	借方銀行	貸方科目名	貸方金額	貸方消費税率	貸方消費税額	貸
1	JD-0000000016	J-0000000016	売掛金	19,000.00	0.00		売上	19,000.00	10.000%	1,727.00	ha
2	JD-0000000017	J-0000000016	売掛金	8,000.00	0.00		売上	8,000.00	8.000%	593.00	ha
3	JD-0000000018	J-0000000016	現金	7,000.00	0.00		売上	7,000.00	10.000%	636.00	ha
4	JD-0000000019	J-0000000016	売掛金	1.00	0.00			1.00		0.00	ha

2.12. 銀行手数料マスタ追加

銀行手数料マスタの登録が可能となりました。
振込データ作成時に該当の銀行に対する手数料として使用されます。
※銀行マスタ画面の右上「手数料入力」ボタンより遷移が可能です。



2.13. 入出荷実績伝票作成時の担当者情報取得処理追加

入荷実績・出荷実績伝票作成時に必須となる項目に関し、発注伝票を参照して作成する際に予め設定することができるよう、新規作成の画面に欄を設けました。

ログインアカウントに紐づく担当者マスタ情報より、初期値が設定されます。

受注生産解除 出荷指図 出荷実績 売上 請求 請求締解除 購買オーダー 請求締 購買見積 発注

受注 選択

作成

受注
受注を検索中...

* 出荷部門

* 出荷担当者

伝票未確定フラグ

受注生産解除 出荷指図 出荷実績 売上 請求 請求締解除 購買オーダー 請求締 購買見積 発注 入荷実績

発注 選択

作成

製番

発注

* 入荷部門

* 入荷担当者

伝票未確定フラグ

2.14. 購買オーダー～発注作成時のレート取得元変更

購買オーダーから発注を作成する際、発注のレートを設定する取得基準日を、購買オーダーの希望納期日から、購買オーダー作成日に変更しました。

2.15. 発注残クローズフラグの機能改善

一部入荷後に、発注の残クローズを行った場合、既に入荷済みの伝票に対して、仕入以降の後続処理を実施可能としました。
また、全数入荷済の発注伝票は残クローズできず、残クローズされている伝票に対して、追加の入荷処理は実施できないよう改善しました。

2.16. 請求締・支払締の検索条件追加

請求締、支払締の検索条件に、売上の請求作成フラグがオン、仕入の支払作成フラグがオンの条件をそれぞれ追加しました。

売上の売上ステータス、仕入の仕入ステータスを「承認済」に変更頂くことで、請求／支払作成フラグのチェックがオンとなり、請求／支払締の実施が可能となります。

2.17. 販売・購買伝票の拠点制御

下記の入力画面において、拠点、出荷元・入荷先拠点の値がそれぞれ、計上部門、在庫場所に紐づく拠点の値に塗り替えられていたため、参照項目に変更しました。

整合性を保つため、各入力画面において拠点の手入力はできないよう制御しています。

手動設定の詳細は「UM共通 リリースノート」を参照ください。

オブジェクト名	対象項目
受注見積	拠点
受注	拠点
	出荷元拠点
出荷実績	拠点
	出荷元拠点
売上	拠点
	出荷元拠点
請求	拠点
	出荷元拠点
購買オーダー	拠点
	入荷先拠点
購買見積	拠点
	入荷先拠点
発注	拠点
	入荷先拠点
入荷実績	拠点

	入荷先拠点
仕入	拠点
	入荷先拠点
支払予定	拠点
	入荷先拠点

2.18. 不具合修正

下記機能で不具合修正を実施いたしました。

V1.40.0

- 大量データ処理: 購買オーダー
購買オーダー一覧、および一覧からの発注作成処理において約50件を超えるレコード数の場合に処理が出来ないケースがありましたが、1500件までのデータを処理できるように改善いたしました。
- 残高機能利用開始前の伝票に対する残高更新
今まで残高処理利用開始前に作成された伝票の残高登録が対象外でしたが、それらの伝票の更新(赤黒処理)がされた場合、元黒とは紐づきなく仕訳元帳・残高更新を行えるように修正いたしました。
※残高処理利用開始の前月残高として移行されている前提となります。
- 明細修正時の債務残高計算が不正になるケースの改修
仕入伝票・支払予定伝票の明細修正時に残高が不正になる場合がある不具合を修正いたしました。
- 請求締・支払締機能改善
承認伝票の締処理が空振りするケースがある不具合を修正いたしました。
- ステータスパス改善
分納の場合や参照のない伝票を削除した場合においてステータスパス押下での遷移が不正になる不具合を解消いたしました。
- 伝票作成後の関連取引先情報取得機能追加
伝票作成後に取引先情報の取引先を変更しても住所情報等の再取得はされませんでした。が、作成後でも再指定することでマスタ情報が取得されるように改善いたしました。
- 出荷実績登録時のSOQLエラー改善

受注・売上にてプロセスビルダーやフロー等を使用されていた場合、出荷実績登録(またはUMWMSでの出荷確定機能)にてSOQLエラーが発生する場合があります。改善いたしました。

- 数式のカスタム項目
伝票間でのカスタム項目の移送時、数式項目のカスタム項目が含まれていた場合にエラーとなる事象を改善いたしました。
※数式のため、本対応でも値自体の継承はできません。
- 売上傳票・仕入伝票の締日変更機能
出荷基準・入荷基準で伝票作成した場合にマスタ値以外の締日に変更できないことを受け、出荷基準・入荷基準であっても売上傳票・仕入伝票から締日を変更できるようにいたしました。
- 単価取得処理の改善
単価マスタおよび品目数量別単価マスタを設定されていない品目の場合、単価設定後に数量を変更すると再度単価の取得処理が走り単価が0となる事象を解消いたしました。
- 伝票明細の項目表示切替ボタンの不具合解消
伝票明細上部にある項目の表示切替ボタン群において、非表示切替がなされない不具合を解消いたしました。
- 伝票削除時の元帳更新処理改善
同契約において支払予定・仕入の両方を削除した場合、仕入先元帳に両タイミングで記帳を行っていましたが、支払予定の削除時は仕入先元帳への登録処理は発生しないよう改修いたしました。
- 伝票ヘッダ更新時の残高更新処理改善
伝票のヘッダにおいて残高のキー項目を更新した際に、残高情報の洗い替えが走るよう改善いたしました。
- 支払実績(単票)の金額表示改善
リストビューより支払実績(単票)を開いた場合に、外税時の金額表示が税抜きとなる不具合を解消いたしました。

V1.44.4

- 明細の列幅調整機能の翻訳対応
カスタムメタデータ型のDetail Editor Column Settingsの翻訳を実施しました。
詳細に関しては、「UM共通:システム管理者ユーザーガイド 2211E」に記載してあります。

V1.44.7

- 生産計画→購買オーダー作成時の単価取得
生産計画から購買オーダーを作成する際、単価(取引通貨)が設定されない事象を改善しました。

- 受注生産依頼→生産計画作成時の計画数量について
受注生産依頼から生産計画を作成する際、バッチ数を指定していないと、生産計画の計画数量に値が設定されない事象を改善しました。

V1.44.9

- 支払実績入力(単票)時の支払No.設定
支払実績入力(単票)画面で支払実績を作成する際、支払No.に値が設定されない事象を改善しました。

3. アップグレード手順

パッケージURL:

- ①Schema
- ②Label
- ③Utility
- ④Domain
- ⑤Service

①～⑤のパッケージURLは「UM共通 リリースノート」に記載しています。

⑥販売購買 ver.1.44.9

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000004NyHmAAK>

<手順>

- 1) **本番へのアップグレード前には必ずSandboxにて検証ください。**
上記URLのloginをtestに置換してアップグレードください。
例) <https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=パッケージID>
- 2) ①Schema～⑤Serviceのアップグレードを実施します。
パッケージURLは「UM共通 リリースノート」に記載しています。
「UM共通 リリースノート」を参考に、①Schema～⑤ServiceのURLの実行を行ってください。
※必ずパッケージURL⑥の前に行ってください。
- 3) 上記パッケージURL⑥にアクセスします。
- 4) ログイン画面が表示されます。アップグレードする環境のユーザでログインしてください。



- 5) アップグレード実行画面が表示されます。
※アップグレード実行前に、今回アップグレードを行うバージョンになっているか、必ずバージョン名を確認してください。

<実行手順>

- a) 「管理者のみのインストール」をクリックします。
- b) 下図のように「同意」チェックボックスがある場合は、ONにします。
- c) 「アップグレード」ボタンをクリックします。



アップグレード完了後、画面に「アップグレードが完了しました」のメッセージが表示されます。「完了」ボタンをクリックします。

下図のような画面が表示された場合は、完了メールを確認後に「完了」ボタンをクリックします。



- 6) 「インストール済みパッケージ」画面が表示されます。
インストールしたパッケージ名のバージョン番号を確認してください。
アップグレードを行ったバージョンになっていればアップグレード完了です。

設定
ホーム
オブジェクトマネージャ

インストール

アプリケーション

パッケージ

インストール済みパッケージ

機能設定

分析

Analytics

自動インストールアプリケーション

探しているものが見つかりませんか?
グローバル検索をお試しください。

設定

インストール済みパッケージ

インストール済みパッケージ

AppExchange ページでは、開発済みのアプリケーションやコンポーネントを参照したり、トライアルをしたり、ダウンロードして、お客様の salesforce.com 環境に直接インストールしたりすることができます。パッケージのインストールの詳細は[こちら](#)をご覧ください。

アプリケーションやコンポーネントは、パッケージのインストールを完了します。インストール直後は、すべてのカスタムアプリケーション、オブジェクト、およびカスタムオブジェクトに「開発中」のマークが付いており、組織内のユーザは利用できません。このため、アプリケーションをテストおよびカスタマイズしてからリリースできます。コンポーネントは、「リリース」をクリックして、他の設定情報を使用して権限にアクセスした次のグループ単位でリリースすることができます。

インストール済みパッケージの横にあるリンクにより、このページから別のアクションを実行できます。

パッケージを削除するには、【アンインストール】をクリックします。パッケージのライセンスを管理するには、【ライセンスの管理】をクリックします。

アクション	パッケージ名	公開者	バージョン番号	名前空間プレフィックス	インストール日	制限	アプリケーション	タブ	オブジェクト	AppExchange 準備完了	
アンインストール	snps_um_label	Synapse Innovation Inc.	1.3	snps_um	2022/08/08 18:52	✓	0	0	0	不合格	
アンインストール	UMPProductManagement	Synapse Innovation Inc.	1.13	snps_um	2022/08/08 19:06	✓	2	2	0	合格	
アンインストール	snps_um_coremail	Synapse Innovation Inc.	1.14.1	snps_um	2022/08/08 18:56	✓	0	5	1	不合格	
アンインストール	snps_um_schema	Synapse Innovation Inc.	1.15	snps_um	2022/08/08 18:46	✓	0	73	129	不合格	
	説明 0R2X0000HCCR7AAK										
アンインストール	snps_um_service	Synapse Innovation Inc.	1.2	snps_um	2022/08/08 18:57	✓	0	0	0	不合格	
アンインストール	snps_um_utility	Synapse Innovation Inc.	1.6	snps_um	2022/08/08 18:53	✓	0	0	0	合格	

アンインストールされたパッケージ

アンインストールされたパッケージのデータのアーカイブはありません。

4. UM販売購買用設定

UM販売購買の変更内容をご利用のために、一部設定をしていただく必要があります。
ご利用環境のverや設定状況によっては設定不要の内容もございます。あらかじめご了承ください。

4.1. UM共通設定

UM共通リリースノートにも同様に設定の記載があります。
下記資料の設定内容を参考に、設定を行ってください。
「UM共通リリースノート 2211E」

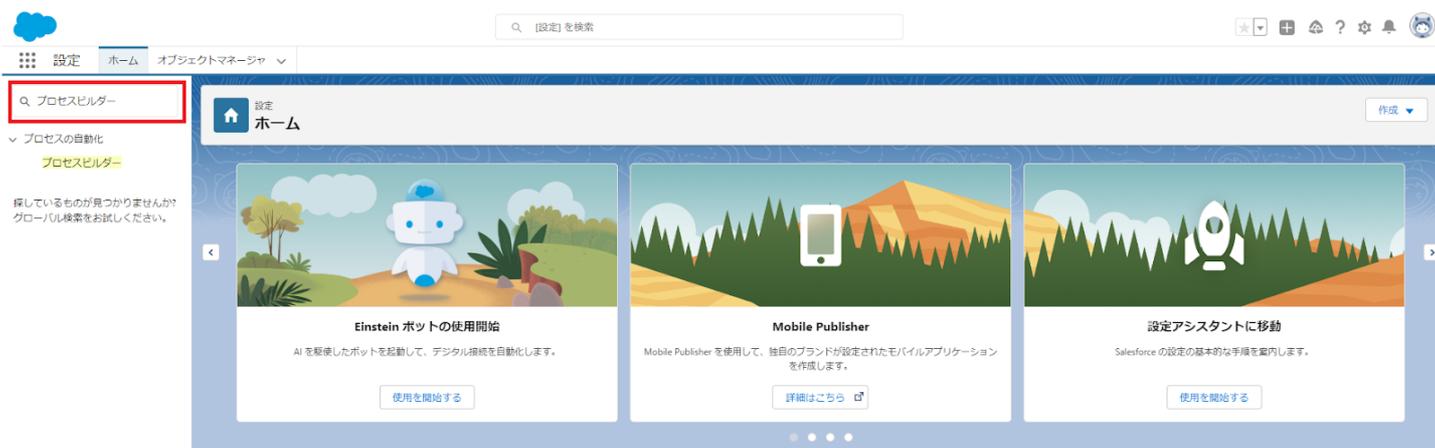
4.2. プロセスビルダーの制御を無効化に変更する

下記表のプロセスビルダーに対して無効化する設定をします。
* プロセスビルダーは2023年度に廃止になるため、2023年以降にメンテナンスをすることができなくなります。プロセスビルダーに設定されているものを段階的にフローに移行する予定です。

プロセスビルダー名
Purchase Change Create Payment Flg
Sales Change Create Bill Flg

<手順>(例)Sales Change Create Bill Flgを無効化する。

- 1) クイック検索でプロセスビルダーを検索します。



- 2) 無効化したいプロセスビルダーをクリックします。

フローを使用しましょう! ロード自動化の未来である Flow Builder を使用すると、プロセスビルダーで行うすべてに加えて、さらに多くのことを実行できます。Salesforce はプロセスビルダーを廃止する予定であり、Flow Builder で自動化を構築することをお勧めします。 [詳細はこちら](#)

プロセスビルダー ← 設定に戻る ? ヘルプ

私のプロセス
4 個の項目

プロセス	説明	オブジェクト	プロセス種別	最終更新日	状況	アクション
Project Master Contract End Date Set	If you have not entered the contract end date and re...	プロジェクトマスタ	レコードの変更	2022/10/20	有効	
Project Master Project End Date Set	If you have not entered the project end date and regi...	プロジェクトマスタ	レコードの変更	2022/10/20	有効	
Purchase Change Create Payment Flg	仕入ステータスが承認済のとき、支払作成フラグをT... 仕入		レコードの変更	2022/10/24	有効	
Sales Change Create Bill Flg	売上ステータスが承認済のとき、請求作成フラグをT... 売上		レコードの変更	2022/10/24	無効	

3) 無効化ボタンを押して、プロセスビルダーを無効化します。

プロセスビルダー - Purchase Change Create Payment Flg ← 設定に戻る ? ヘルプ

すべてのプロセスを表示 コピー プロパティを表示 **無効化** 参照のみ

```

    graph TD
      Start([開始]) --> In[仕入]
      In --> Decision1{Purchase Status Is Approved}
      Decision1 -- TRUE --> Action1[ルール適用時のアクション  
Change Create Paym...  
+ アクションを追加]
      Action1 --> Stop1([停止])
      Decision1 -- FALSE --> Decision2{+ 条件を追加}
      Decision2 -- TRUE --> Action2[ルール適用時のアクション  
+ アクションを追加]
      Action2 --> Stop2([停止])
      Decision2 -- FALSE --> Stop3([停止])
  
```

4.3. フローを有効化する

下記表のフローに対して有効化できるように設定します。

* プロセスビルダーは2023年度に廃止になるため、2023年以降にメンテナンスをすることができなくなります。プロセスビルダーに設定されているものを段階的にフローに移行する予定です。プロセスビルダーからフローに変更するに当たり、締区分での判定条件を追加しています。

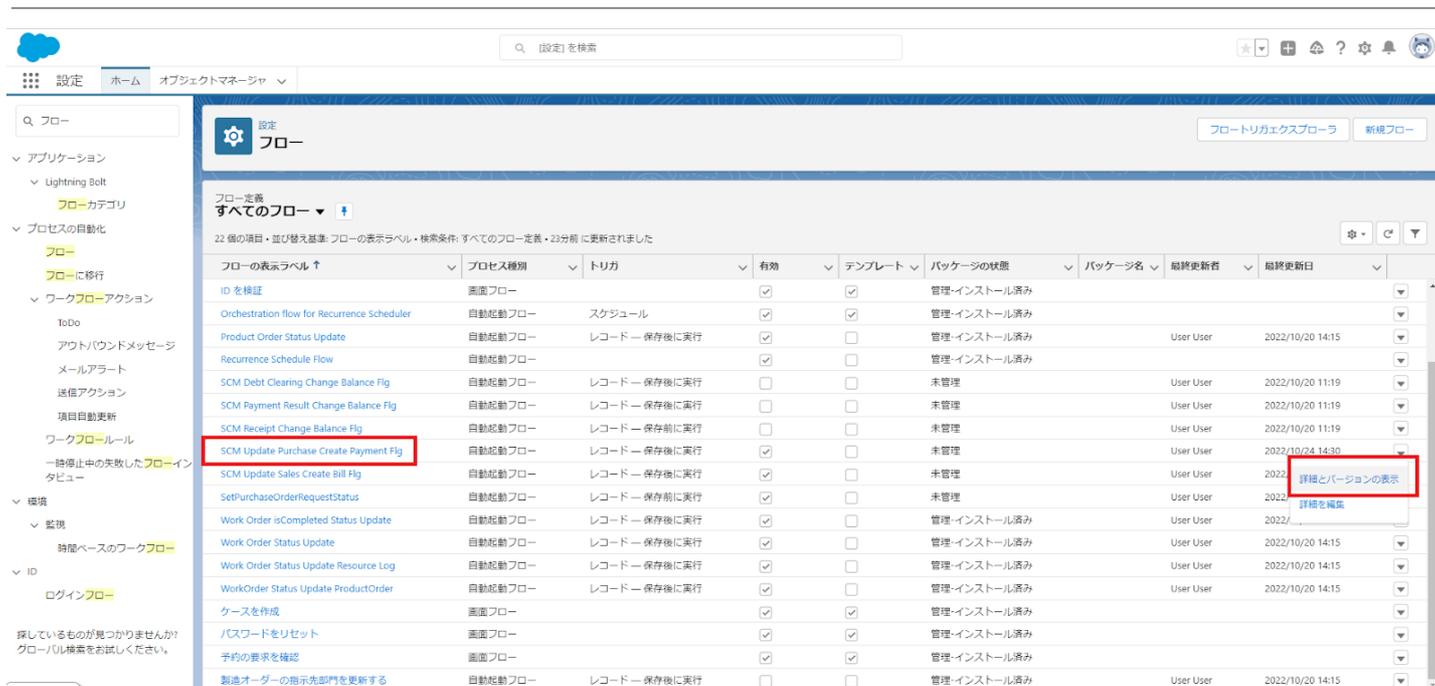
フロー名	説明
SCM Update Purchase Create Payment Flg	仕入ステータスが承認済みに変更されると、支払締区分が都度支払の場合、支払作成フラグがオンになります。
SCM Update Sales Create Bill Flg	売上ステータスが承認済みに変更されると、請求締区分が都度請求の場合、請求作成フラグがオンになります。

<手順> (例) SCM Update Purchase Create Payment Flgのフローを有効化する

1) クイック検索よりフローを検索します。

The screenshot shows the 'Flow' management interface. On the left, a sidebar contains a search bar and a list of categories. The 'Flow' category is selected and highlighted with a red box. The main area displays a table of flows with columns for 'Flow Name', 'Process Type', 'Trigger', 'Enabled', 'Template', 'Package Status', 'Package Name', 'Last Updated By', and 'Last Updated Date'. The flow 'SCM Update Purchase Create Payment Flg' is highlighted in blue, indicating it is selected.

2) 有効化するフローの詳細とバージョンの表示をクリック



3) 有効化をクリックしてフローを有効化する。



4.4. 入力規則を無効化する

下記表の入力規則について無効に設定します。

※UM販売購買 Ver 1.4.0をお使いになられていたお客様が対象となります。

オブジェクト	項目	対応内容
購買オーダー	MakeFinalEstimationNoReadOnly	有効チェック「オン」→チェック「オフ」に変更

1) <手順>購買オーダー MakeFinalEstimationNoReadOnlyを無効

設定メニューより、オブジェクトマネージャ>対象のオブジェクトをクリックします。

※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つかります。

The screenshot shows the 'Object Manager' (オブジェクトマネージャ) interface. At the top, there is a search bar with the text '[設定] を検索'. Below it, the 'Purchase Order' (購買オーダー) object is selected and highlighted with a red box. The table below lists the object details:

表示ラベル	API 参照名	種別	説明	最終更新	リリース済み
購買オーダー	snps_um_PurchaseOrderRequest_c	カスタムオブジェクト		2022/04/18	✓

2) 入力規則 > MakeFinalEstimationNoReadOnly > 編集をクリックします。

The screenshot shows the 'Purchase Order' (購買オーダー) input rules management page. The 'Input Rules' (入力規則) section is active, showing a list of rules. The rule 'MakeFinalEstimationNoReadOnly' is highlighted with a red box, and the 'Edit' (編集) button next to it is also highlighted with a red box.

ルール名	優先順位	説明	有効	作成者	更新日時	操作
IsSupplierRequired	ページの最上位へ	見積票の場合、仕入先は必須入力です。	✓	株式会社山本海苔店 管理者ユーザ	2022/04/18 17:32	▼
MakeFinalEstimationNoReadOnly	ページの最上位へ	確定見積Noは編集できません。	✓	株式会社山本海苔店 管理者ユーザ	2022/04/18 18:17	▼
MakeSourceSystemReadOnly	ページの最上位へ	オーダー元は編集できません。	✓	株式会社山本海苔店 管理者ユーザ	2022/04/18	編集
NameLenCtrl	ページの最上位へ	Purchase Order Request Name must be 40 characters or less.	✓	株式会社山本海苔店 管理者ユーザ	2022/04/18 17:32	▼
UneditableAfterConfirm	ページの最上位へ	発注済分は選択できません	✓	株式会社山本海苔店 管理者ユーザ	2022/08/26 20:21	▼

3) ルール名がMakeFinalEstimationNoReadOnlyであることをご確認いただき、有効をオフにして保存する。

The screenshot shows the 'Purchase Order' (購買オーダー) input rule management page in edit mode. The rule 'MakeFinalEstimationNoReadOnly' is selected, and the 'Save' (保存) button is highlighted with a red box. The rule name is also highlighted with a red box. The rule description is: '確定見積Noは編集できません。' (Cannot edit confirmed estimate No.). The rule is currently active (checked).

The rule name is: **MakeFinalEstimationNoReadOnly**

The rule description is: 確定見積Noは編集できません。

The rule is currently active (checked).

4.5. 奉行クラウド連携をご利用になる場合の任意設定

※UM for奉行クラウドのパッケージ「UMBugyo」がインストールされている場合に必要な設定です。

・リストビューの設定

オブジェクト	項目	対応内容
勘定奉行仕訳IF	API連携	カスタムボタン「利用可能なボタン」→「選択したボタン」に追加

- 1) <手順>(例) 支払実績のリストビューボタンレイアウト追加
設定メニューより、オブジェクトマネージャ>対象のオブジェクトをクリックします。
※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つかります。



- 2) リストビューボタンレイアウト>リストビュー>編集をクリックします。



3) カスタムボタンに対して、対応内容に記載の内容を追加する。

